



オープンダイアログ 私たちはこうしている

森川すいめい＝著

定価2200円（本体2000円＋税10%）

医学書院 ☎03-3817-5600

筆者は、日本人医師として初めてオープンダイアログの国際トレーナー資格を取得し、6年前から自身のクリニックで実践を重ねてきた。現状日本の医療現場ではなかなか導入しづらいともされるオープンダイアログだが、本書では、具体的な声のかけ方や応答例、対話セッションの様子、困ったときの対処法など、筆者が存分に活用しているその手の内をあますところなく公開している。興味はあっても踏み出せない方の強力な後押しになるはず。

精霊に捕まって倒れる

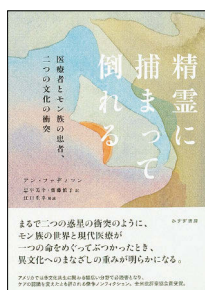
医療者とモン族の患者、二つの文化の衝突

アン・ファディマン＝著

忠平美幸、齋藤慎子＝訳、江口重幸＝解説

定価4400円（本体4000円＋税10%）

みすず書房 ☎03-3815-9181



1997年の刊行以来、多文化共生の国アメリカで、幅広い分野での必読書となった本書。現代医療とモン族の世界が1つの命をめぐるぶつかった現場を、執念と言えるほどに緻密に、そして深く切り込んだノンフィクション。随所に、異文化へのアプローチの手がかりがあり、改めて“ケアとは何か”を考えさせられる。

精神科病院と地域支援者をつなぐ

みんなの退院促進プログラム

実施マニュアル&戦略ガイドライン

古屋龍太、大島巖＝編著

定価2640円（本体2400円＋税10%）

ミネルヴァ書房 ☎075-581-5191



長期に入院している方々が地域で暮らすためには、病院と地域事業所の協働は必須。筆者らはそのための統合型プログラムを開発した。各地の実践例からはスタッフや当事者がエンパワメントされる様子が伝わる。実施マニュアルや圏域の特性に沿った戦略ガイドラインにはヒントがあるかも。

こころとからだにチームでのぞむ

慢性疼痛ケースブック

明智龍男、杉浦健之＝編著

定価4730円（本体4300円＋税10%）

医学書院 ☎03-3817-5600



慢性痛の病態には心理社会的側面が複雑に関与しているとされ、治療には運動療法を含めたチームアプローチと心理的バックアップが必要とされている。本書は、双極性障害や発達障害などを有した人への痛みはどうアプローチするかが含まれており、実践的ケースブックとなっている。

不安さんとはたらく

ナガノハル＝著

定価1320円（本体1200円＋税10%）

山吹書店 ☎0422-26-6604



双極性障害Ⅱ型を有する筆者には、「働かないの？」と迫るもう一人の濃い自分＝不安さんがいる。不安さんは就活中も仕事を始めてからも日常を攪乱する。本書ではそんな日常が漫画により繊細に軽快に描かれる。終盤、不安さんとは戦わず、共に生きていこうと決意する場面がいい。